

◎別所小の生活指導方針◎

学校は、子どもたちにとって集団生活の場であり、小さな社会です。子どもと子ども、子どもと教師、子どもと地域の方々など多くの人との関わりの中で、自分を成長させていく場です。

このように、学校という小さな社会で生活をするということは、子どもたちにとって多くのことを学ぶことになります。別所小学校の教育目標「自分をのびします」「心をみがきます」「元気にすごします」をもとに、さまざまな教育活動を行っています。

なかでも、次の3点を本校の重点生活指導方針として位置付けて取り組んでいきます。

◎自分と共に他人を尊重する態度を育てます（いじめ関連への丁寧な対応）。

◎社会人となる基礎（礼儀・規範意識・自立）を育てます（挨拶、廊下は歩く、靴揃えの取組）。

◎SBGsに取り組む中で、愛校心を高めます（目標の重点化と共有化）。

子どもたちは、大人の想像を超えて、大きな成長を見せることがあります。できる力を振り絞って全力で頑張るときもあります。その時は、頑張りを大いに認め、心から褒め、次に向かう気持ちをもてるようにしていきます。一方、時には自分の感情がコントロールできずに素直になれないこともあります。そのような時は、決して感情的に叱らず、話をよく聞き、子どもたちの心に寄り添いながら指導をしていきます。

このような子どもたちの様子については、必要に応じて保護者の皆様へ状況を伝え、家庭と連携をして子どもたちの健全育成に取り組んでいきます。また、全教職員も子どもたちのお手本となるよう、自己の言動に気を配り、公正・公平な姿勢で子どもたちに接していきます。

